

4月20日(月)

## 判断が早すぎる？

聖書朗読 マルコ 2：18～28

あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、

マタイ7：2

定期的に断食するというのは、ダイエットのためか、あるいは病気が原因で食欲がない場合以外、ほとんどないものです。旧約のもとでは、一定の日数、断食することが求められていましたが、パリサイ人たちはその日数を追加し、さらに自分たちがしているように、すべての人が断食するべきだと考えました。そして、私たちが自分の習慣をちゃんと守ってくれない人をときどきさばいてしまうのと同じように、パリサイ人たちはすぐに人をさばきました。

礼拝に行くとき、以前は、たいいていの人が一番いい服装をしていたのを覚えています。それは、ほとんど強制的な慣習になっていて、普段着で礼拝にあらわれると厳しい批判を受け、その人の性格や精神面までをもさばきがちでした。でも、新約聖書には、「ドレスコード」については何も書かれていません。

外見で人をさばくという罪を犯していませんか？ 神様、私たちみんなが人をさばくことを少しでも少なくできますように、そして、もっとイエス様に倣う者になりますように助けてください。イエス様は、私たちがまだ罪人であるときに私たちを愛し、私たちのために死んでくださいました。

讃美歌 492

祈り 主よ。人を見ただ目で判断しないように、私たちを助けてください。あなたが私たちみんなを愛してくださり、あなたにとって、私たち一人一人が大切な存在であるということを理解できますように。

イエス様のお名前において。アーメン。

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

H. グレン・ボイド  
アーカンソー州 サージー

4月21日(火)

## 休息と回復

聖書朗読 マルコ 4:35~41

そこでイエスは彼らに「さあ、あなたがただけで、寂しいところに行って、しばらく休みなさい。」と言われた。  
マルコ 6:31

陳列テーブルの下から男性がひとり起き上がりました。彼は教会のワークショップのために、不眠不休で働いていましたが、少しだけ仮眠をとっていたのです。彼を見てびっくりした人たちに、彼は「20分間だけ寝てたんです」と言いました。彼は、テーブルカバーが寝ている自分の姿を隠してくれるかと思っていました。スマホの目覚ましをセットして、すぐに仕事を再開するつもりでした。

ところで、マルコの福音書では、イエス様は、この「20分間」を舟の底の方で休まれました。イエス様は体を丸められて、腕を枕にして、眠っていらっしゃいました。忙しさの中で、少しでも休息の機会を見つけられていました。毎日、群衆を教えられることに忙しく、疲れていらっしゃったからです。

「さあ、あなたがただけで、寂しいところに行って、しばらく休みなさい」とイエス様が言われたのは、休みをとることが、弟子たちに必要であることがわかりだったからです。軍隊では、このことを「R and R」、つまり「休息と回復 (rest and recuperation)」と呼んでいます。

「R and R」のために、その場を離れて、リラックスして、仲間の兵士と時間を過ごします。あるいは御父に祈り、みことばを読むこともあります。多分、あなたは、一人で過ごす静かな20分間が必要なのではないのでしょうか? 「R and R」は、あなたの信仰を強め、あなたの魂を回復させます。また、周りの人たちの必要を満たし、要求に応えるのは難しいこともあります。ですから、主のもとに来て、休み、それから出かけましょう。喜びをもって、主にお仕えしましょう。

讃美歌 517

祈り 天国のお父様。喜びをもって、あなたにお仕えします。あなただけが与えることができる休息が必要なときがあります。天国で再びお仕えする備えができるように、私たちの魂を回復させ、私たちの炎を再燃させてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ロードス  
コロラド州 プエブロ

4月22日(水)

## たくさんあります

聖書朗読 マルコ 6:30~44

わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。  
ヨハネ13:15

ゆったりとした食事を楽しむことを含め、人生を満足させるには多くのことが重要です。精神的に疲れているときには、友人とリラックスして食事をしたいと切実に思うかもしれませんが、でも、今日の聖句の個所で、イエス様がそのように望まれたと考えるのは難しいようです。

イエス様は毎日、群衆に教えられていたので、間違いなくお疲れになっていました。おそらく、イエス様は休んで、ゆっくりと食事をとりたいと思われたと思います。でも、イエス様はご自身が教えている人たちのことを思われました。彼らは疲れているのではないかと。お腹も空いているのでは? イエス様はご自身が自分にしたいと思われたことを彼らになさって、彼らが同じように満足することを望まれました。これが、あわれみ、思いやり——自分にしたいと思う同じ良いことを、人にしたいと思うことです。

弟子である私たちにとって、イエス様が私たちの主であることを知る御恵みは、ほかのどんないいことよりも素晴らしいことです。私たちはその御恵みを熱望するようになり、興味深いことに、望めば望むほど、すべてが満たされます。ここでの課題は思いやり、つまり他の人にも同じことを体験してほしいと思うことです。五千人の給食の後、みんな満足して、残り物もいっぱいありましたよね。

讃美歌 534

祈り 永遠のお父様。私への祝福という御恵みを切望するとともに、御恵みを楽しむことができますように。同じように、周りの人たちと御恵みを分かち合うことを強く望むことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マイク・サンダース  
アイダホ州 ボイシ

4月23日(木)

## 何か見えるか

聖書朗読 マルコ 8:22~26

「わたしは決してあなたを離れず、あなたを捨てない。」 ヘブル13:5

ベツサイダで、イエス様と弟子たちは、人々からある盲人を癒して欲しいと乞われ、旅を中断されました。人々は、イエス様のところに盲人を連れてきました。イエス様は、地面につばきを吐いて、そのつばきで泥を作られるのではなく、盲人の両眼に直接つばきをつけられました。

イエス様は「何か見えるか」とその盲人に聞かれました。

その問いに対して、彼は、彼は、見えるようにはなりましたが、ハッキリとではありませんでした。

イエス様はもう一度、彼の両眼に両手を当てられると、彼の眼は開き、すっかり直り、すべてのものがはっきりと見えるようになりました。

これは、癒しがすぐに効果をあらわさなかった聖書における唯一の例です。病人を癒される他の箇所では、病人が癒される時、イエス様がその場にいらっしやらないことさえありました。イエス様が盲人に見えるかどうか聞かれた理由も、私たちにわかりませんが、イエスは何も隠してはいません。

今日の聖書の個所で明らかなのは、イエス様は、癒しを求める人を決して追い払わなかったということです。弟子たちはイエス様のおっしゃることを理解するの時間がかかりましたが、イエス様は決して苦しむ人の要求を断りませんでした。

ですから、私たちははっきりとこう確信します。イエス様が私たちを追い払われることも、決してないと。

讃美歌 243

祈り 主よ。私の目も開いてください。そして、あなたが私に見させて、させたいと思っていられしやることがわかりますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ノーマ・プリヴィット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

4月24日(金)

## 求められていること

聖書朗読 マルコ 10:17~31

イエスは彼を見つめ、その人をいつくしんで言われた。「あなたは、欠けたことが一つあります。帰って、あなたの持ち物をみな売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むことになります。そのうえで、わたしについて来なさい。」  
マルコ 10:21

口座の残高を確認するのはやめるべきです。我が家での夫の役割は、残高のことばかり考えてしまう私に注意することでした。市場は常に上下しているのですから、いくらチェックしたところで無駄なことです。「責任があるんだ。」とか「未来への準備だ」といったところで、私たちがお金を崇拝してしまうことがある事実には変わりありません。

今日の聖書箇所には正しく、律法をすべて守る男が出てきます。彼がイエス様に永遠の命を得る方法を尋ねると、すべて自分の持っているものを売り払いなさい、という答えを得ました。しかし聖書には彼がそのようにしたとは書いてありません。彼は金持ちだったが故に、悲しみながらその場を立ち去ることしかできなかったのです。

最近、あるお金持ちの人がバプテスマをしました。その人は「私をその財産とともに葬ってほしい。財よりも神を選んだのだから」といい、財布を持ったままでバプテスマされました。

お金とは、どのように付き合っていきたいのでしょうか。私の知り合いはお金によって考えが支配されないように気を付けていました。彼がお金持ちであるかどうかに関係なく、そのやさしさは神様こそを生活の中心としていることを示しています。神様は私たちの心と献身を望んでおられるのです。

讃美歌 370

祈り 愛するお父様。私たちがお金よりあなたを選べますように。あなたにもてる財産全てを捧げられますように。

神様ファーストな生活を送ることができますように。アーメン。

エリザベス・ロードル

テキサス州 アーリントン

4月25日(土)

## 主の道こそわれの道

聖書朗読 マルコ 10:46～52

するとイエスは、彼に言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。マルコ 10:52

「さあ行きなさい」とこの箇所ではイエス様はおっしゃっています。しかしこの時、バルテマイにとってはイエス様がどこへ向かおうと、ついて行くことが決まっていたのです。

数か月前、私は目が見えなくなってしまう時期がありました。それは一時的なものでしたが、大変恐ろしいものでした。ゆっくりと、最初のほうは良くなったり悪くなったりを繰り返しながら私の視力は回復していきました。治ったときは大変ありがたかったのですが、私はこうも思いました。「この、よみがえった目で私は何をすればいいのだろう？」

バルテマイは自分のすべきことを知っていました。自分の財産を確認するため家に帰ることもせず、今まで目にすることができなかった様々な場所の風景を見に行くこともしませんでした。ただ、イエスに付き従うために、目を使ったのです。

詩篇119章18節にもあるように、主が目を開かれるのは、そのみおしえの奇しいことに目を留めることが出来るようにするためです。また詩篇40章9節にある通り、神の救いを受けて私たちはその知らせを、ほかの人に伝えることが出来ます。イエス様は「さあ行きなさい」とおっしゃいました。いわゆる自由意志というものは、そのイエス様の道こそが私たちの道であると気が付かせてくれるのです。

讃美歌 II 167

祈り 天にいます愛なる父なる神様、私たちをおゆるしてください。私たちは自分勝手な道を歩んでしまうことがあります、どうかそれを正して、私たちが主の道を歩くことが出来ますように。

信じます主イエスキリストの御名を通してこのお祈り、御前にお捧げします。アーメン。

セイヤー・ソールズベリー  
オハイオ州 トレド

4月26日(日)

## 降りて来て下さり、正義をなすイエス様

聖書朗読 マルコ 14:53～65

見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

ヨハネの黙示録 1:7

ああ、マルコの福音書14章は言葉に尽くせません。イエス様を殺す計画、裏切り、過越の祭り、最後の晩餐、弟子の拒絶、ゲツセマネの出来事、そして試練の時と多くの出来事が起きています。大祭司はすでに、何の罪もないイエス様をでっちあげの罪で訴えることを決めていたのです。

正しいとされていた律法学者も最高法院には臨席していましたが、彼らはイエス様が死に値すると嘘をつき、非難し、偽の証言をしました。彼らは神の子羊を裏切り者、反逆者として殺そうとしたのです。

「あなたは、ほむべき方の子、キリストですか。」「わたしは、それです。人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗ってくるのを、あなたがたは見るはずです。」救い主であり、神のひとり子であったイエス様は大祭司からの二番目の質問にこのように答えられました。(61節)

詩篇110篇1節にも「わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていよ」と記述があります。

ヨハネの黙示録20章12節には「また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。……また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった」ともあります。イエス様は必ず、告発者たちを裁くと書いてあるのです。私たちの主は最も低きものとなってくださり、正しい判断をしてくださり、そして私たちを愛しておられます。私たちがその愛にこたえましょう。

讃美歌 352

祈り 天にいます父なる神様、私たちが罪を許され、永遠の命を与えられたこと、感謝いたします。私たちがそのことをいつも謙虚に覚え、少しでもイエス様に近づくことが出来るように強めてください。アーメン。

スコット・ウイドリ  
テネシー州 キングストン